

2021年3月8日

(1/2)

## スズキ、MotoGP の 2021 年シーズン参戦体制を発表



#36 ジョアン・ミル選手



#42 アレックス・リンス選手

スズキ株式会社は、二輪車レースの最高峰「FIM<sup>※1</sup>ロードレース世界選手権(MotoGP)」の MotoGP クラスに参戦する、Team SUZUKI ECSTAR(チームスズキエクスター)の 2021 年シーズン参戦体制を発表した。

2020 年シーズン MotoGP クラスでチームチャンピオンを獲得した Team SUZUKI ECSTAR での参戦は、2015 年の復帰以来 7 シーズン目となり、同じくライダーチャンピオンを獲得したジョアン・ミル選手(スペイン)と、年間 3 位のアレックス・リンス選手(スペイン)の 2 名体制で参戦する。

参戦車両は直列 4 気筒エンジン搭載の「GSX-RR」で、優れた総合性能と二人のライダーとのマッチングをさらに向上させた。また、2021 年モデルは「モンスターエナジー」のスポンサーロゴが入るカラーリングを採用した。

2021 年シーズンは、3 月 28 日の初戦カタール GP を皮切りに、11 月 14 日の最終戦バレンシア GP まで、日本 GP(10 月 3 日)を含む世界 17 カ国で計 19 戦<sup>※2</sup>開催される。

スズキは、タイトル防衛に向けて、2020 年シーズンの優勝 2 回、準優勝 5 回を含めた 11 回の表彰台獲得を上回る成績を目指す。

MotoGP への参戦を通じて、表彰台を常に狙えるマシンの開発をさらに強化していくとともに、商品へのフィードバックを行うことで、スズキファンの皆様の期待を超える、より魅力的な商品の開発を進め、ブランドイメージの向上を図る。

※1 FIM(国際モーターサイクリズム連盟)

※2 2021 年 3 月 8 日時点の暫定。

### ●GSX-RR 車両諸元

「GSX-RR」は、扱いやすく力強いエンジン特性、燃費性能、耐久性を高い次元で実現する直列4気筒エンジンを搭載。車体は運動性能と空力性能の両面より、車幅を抑えたレイアウトとし、車体剛性、重量バランスの最適化を図っている。2021年シーズンに向けては、コーナー進入の減速から立ち上がり加速までを高次元でバランスさせるよう開発した。

全長×全幅×全高	2,096mm×720mm×1,140mm
ホイールベース	1,457 mm
車両重量	157kg以上
エンジン形式	水冷4サイクル直列4気筒DOHC4バルブ
排気量	1,000cm <sup>3</sup>
最高出力	176kW(240PS)以上
最高速	340km/h以上
ギヤボックス	6速(シームレスシステム)
フレーム形式	アルミツインスパー
タイヤ(フロント/リヤ)	17インチ/17インチ
フロントサスペンション	オーリンズ製 倒立フォーク
リヤサスペンション	オーリンズ製
ブレーキ(フロント/リヤ)	ブレンボ製 カーボンディスク/スチールディスク

### ●Team SUZUKI ECSTAR チーム体制

#### ライダープロフィール

#42 アレックス・リンス選手

#36 ジョアン・ミル選手



出身国 スペイン  
 年齢 25歳(1995年12月8日)  
 戦績 2018年MotoGPクラス年間 5位  
 2019年MotoGPクラス年間 4位  
 2020年MotoGPクラス年間 3位

出身国 スペイン  
 年齢 23歳(1997年9月1日)  
 戦績 2018年Moto2クラス年間 6位  
 2019年MotoGPクラス年間 12位  
 2020年MotoGPクラス年間 1位

#### チームディレクター・マネージャー

・チームディレクター  
 佐原 伸一

・テクニカルマネージャー  
 河内 健

